

平成 30 年度第 2 回多摩市住替え・居住支援協議会 会議結果

日時：平成 30 年 7 月 30 日（月）10：00～11：20

場所：多摩市役所 本庁舎 3 階 301 会議室

獲得目標	▶平成 30 年度事業について協議・意見交換 ⇒ 相談事業、普及啓発事業、入居・生活支援事業、テーマ別連続講座について、協議・意見交換を実施した。
	▶住みかえ支援内容について協議・意見交換 ⇒ 今年度は市内私立幼稚園在園児保護者を対象にアンケート調査を実施する。
	▶今後の協議会の展望について協議・意見交換 ⇒ 今年度中に平成 32 年度(2020 年度)以降の協議会の方向性を決定する。

主な意見（要旨の抜粋）		
内 容	意 見 等	方向性（対応）
相談事業	<ul style="list-style-type: none"> ・台風 12 号の影響により相談会の日程を延期したが、多くの方は引き続き参加可能であった。 ・福祉なんでも相談については当初の予想に比べ申込が無いようである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談対応者が平日の方が対応しやすいのであれば、平日開催も今後検討する。 ・分析はしていないが、別途市への予約が必要なことが影響していると思われる。
普及啓発事業	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅確保要配慮者への入居支援パンフレット更新にアンケート結果を入れるとのことだが、どのようなイメージか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イラスト面を削減し、概要を掲載する予定。紙面では掲載範囲に限度があるため、別途 A4 用紙 1 枚の資料を作成し、同封する予定。
住みかえ支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は市内私立幼稚園在園児の保護者対象にアンケート調査を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・9/25(火)に実施される幼稚園園長会でアンケート調査の依頼をする。また、事前に会長園長と事務局で協議する。
テーマ別連続講座	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ別連続講座も国費の対象であるが、国費の対象とするためには、住宅確保要配慮者にとって有意義であることが重要な条件である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・DIY は日本では若者向けの側面が大きい。何か興味をひくことはできないか、そう捉えれば国費の対象にもなるのではないか。
平成 31 年度のスケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・世田谷区、江東区では居住支援協議会設立の前からサポート店制度に取り組んでおり、世田谷区では 10 年以上実施している。実績については不明であるが、導入後は、序々に斡旋の件数は増えていたようである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サポート店制度について、事務局で引き続き事例研究する。
協議会の今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 32 年度以降の協議会について 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度の協議会で検討する。